

サステナビリティ関連情報の開示対応、 有価証券報告書・統合報告書・ESG レポート作成支援

近年、企業に対する要求は大きく変化しました。気候変動対応、生物多様性の保全、ビジネスと人権など、社会的な課題が強く意識される中、企業にはこれらの課題について事業活動を通じて解決することが期待されています。サステナビリティ経営とは、企業が長期的な視点で事業活動を考え、企業自身の持続可能な価値創造ストーリーを描くことです。

企業には、企業活動が影響を与えるそれぞれのステークホルダーに対するインパクトを把握・計測し、統合報告書やサステナビリティレポート、コーポレートサイトといった様々なツールを利用して、各ステークホルダーに財務/非財務情報を開示することが求められています。JBA サステナビリティ株式会社では、監査実務や開示資料の作成スキルを持つ経験豊富な公認会計士が中心となり、クライアントのサステナビリティ経営推進を実務面からサポートいたします。



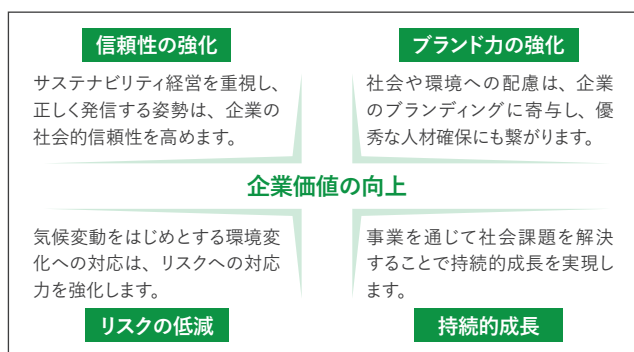
JBAサステナビリティ株式会社

JBA Sustainability Co., Ltd.

● サステナビリティ経営

Sustainability Management

サステナビリティ経営の本質は、社会課題の解決を自社の経営戦略に組み込み、持続的な成長を達成することで企業価値の向上を目指すことです。



● JBA サステナビリティの強み

Our Strength

JBA サステナビリティでは、ハンズオンでのコンサルティングサービスの経験が豊富な日本・米国の公認会計士を始めとする専門家が、クライアント企業と共にサステナビリティ関連プロジェクトの推進・実施をサポートいたします。

▶ 監査・当局対応を見据えた資料作成

サステナビリティ関連の開示については、将来的に保証が求められることとなります。JBA サステナビリティは、監査の実務経験や当局宛の開示資料の作成経験の豊富な日本・米国の公認会計士が、保証水準を備えた資料の設計・作成の支援を行います。

▶ 目に見える形まで一気通貫で支援

JBA サステナビリティは、企業がサステナビリティ経営を実勢する上で必要な、分析・測定、体制構築の支援、モニタリングはもちろん、ステークホルダーへの発信する統合報告書、ESG・サステナビリティレポート等のレポートの企画・制作まで、ワンストップでサービスを提供します。

▶ メンバーの一員として手を動かす

サステナビリティ経営を推進する企業内のプロジェクトメンバーは、本来の業務との兼任者ばかりでは、プロジェクトの進捗が予定通りに進まないことがあります。JBA サステナビリティでは、このような人員不足や時間不足を補うため、プロジェクトメンバーとして、現場で実務をサポートします。また、社外のプロジェクトメンバーとして各部署間の連携を図り、社内横断的なプロジェクトマネジメントを行います。

● サービスメニュー

Service Menu

JBA サステナビリティでは企業がサステナビリティ経営を実践するため、以下の領域でサービスを提供します。

サステナビリティ経営

⑧ マテリアリティ特定支援

マテリアリティ(重要課題)の特定は、サステナビリティ経営の最初のステップです。サステナビリティに関わる多種多様な課題から、社会やステークホルダーへのインパクトが大きく、かつ事業のサステナビリティに関わる課題を絞り込みます。

📄 サステナビリティ研修

サステナビリティ経営推進のためには、関係者の理解・協力が不可欠です。社員向け研修、役員向け研修などクライアント企業のご要望に応じた研修を実施し、サステナビリティ経営の浸透を支援します。

TCFD 対応

⑧ TCFD シナリオ分析支援

⑧ TCFD 開示対応支援

気候変動は世界最大の関心事の一つです。投資家をはじめとする様々なステークホルダーが、企業に対して気候変動へどのように対応しているかの情報公開を求めています。JBA サステナビリティでは、多くの企業が対応を迫られる TCFD 提言対応について支援しています。

人的資本

⑧ ジョブ定義・スキル棚卸支援

⑧ 人的資本開示対応支援

⑧ キャリアビルディング(組織開発支援)

⑧ エンployeeエクスペリエンスプラットフォーム(SaaS)導入支援

人的資本が価値創造にとって最も大切であることを否定する人はいませんが、多くの企業で勤や経験による人事管理が行われてきました。JBA サステナビリティでは人的資本の見える化を通じて、科学的なアプローチでの人事戦略を支援しています。

サステナビリティ関連レポート

📄 有価証券報告書

📄 統合報告書

📄 ESG・サステナビリティレポート

企業価値を向上させるためには、各企業にとってステークホルダーとの対話が重要であり、対話に際して求められる情報開示は増加しています。JBA サステナビリティでは統合報告書を始めた各開示媒体の役割を明確化し位置付けを整理するとともに、比較企業分析やプロジェクトチームのファシリテート等を通じて、各ステークホルダーとのコミュニケーションツールの作成を支援しています。



JBAサステナビリティ株式会社

JBA Sustainability Co., Ltd.